

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント
One Point

水素

nikko am
Nikko Asset Management

vol.10

神奈川県内で水素鉄道の試験走行始まる

2050年のカーボンニュートラルに向けて、JR東日本は、国内で初となる水素ハイブリッド電車「HYBARI」(ひばり)の神奈川県内の営業路線での試験走行を開始しました。走行時に二酸化炭素(CO₂)を発生させないのが特徴で、2030年の実用化を目指しています。

ひばりは、水素を燃料とする燃料電池と蓄電池を併用するハイブリッド電車で、列車に搭載されたタンクに水素を充填し、燃料電池装置で発電します。ブレーキ作動時の電力なども蓄電池にためて使い、走行時にCO₂が発生しません。JR東日本、日立製作所、トヨタ自動車が開発したもので、最高時速は100km。一回の高圧水素充填で最大140kmの走行が可能です。

鉄道業界における水素燃料への関心が世界的に高まっています。フランスのアルストムは早くから水素燃料車両の開発に取り組んでいるほか、ドイツのシーメンスも燃料電池車両を試験導入すると発表するなど、巨大なビジネスチャンスを睨み、世界で急ピッチで開発が進んでおり、その動向に注目が集まります。



※上記はイメージです

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。